



「お——イイま●こ……してる……♡」

「う……ぐっ……ケネ……スさん……」

「つたくケネスさんっケネスさんって
うるせえからスタッフに聞いてきてやったぜ」

「マジでうるせえよな」
「で？そのケネスって野郎はどうなったんだ？」

「魚のエサにしたって(笑)」

「へ……？」
「さ……かな……のエサ……？」

「ふっ……はははっ」
「魚のエサってマジかよ」

「釣り好きらしいし大好きな魚に
パクパクされて本人も本望だろ♡」

「う……嘘……」
「そ……んな……そんな……」

「悲しんでいる……ところ悪いがよお……♡
オレ……種汁上がってきて……もう限界かも……♡
た……種付けイクせえ……アナベル……♡」

「っ!!」



「や…やつ！
それ…それだけはっ!!」

「ふ——何言ってるんだよ？
子作りセックスなんだから
膣^{なか}内に射精しなきゃ意味ねえだろ?♡」

「当たらないように祈つとけよ♡
産まれてくるガキ
マジでコイツそっくりだぜ♡」

「ひっいいいいイ！
おっお願い！外につ外に！」

「イ…イ声出すじゃねえ…か…♡
そんな声出されたら…腰が…止まら…っ♡」

「あぐっ……ぐっ！
だ…誰か…助け……」

「ぐあああっイぐ！イぐっ!!
特濃種汁で孕ませてやるぞおお!!」

「やあああ駄目えええ！
外につ外にいいいいっ!!」



「孕めっ孕めアナベルっ!!
オレそっくりのガキ孕みやがれえええっ!!」

「駄目っ駄目えええええっ!!」

「お…おお…」

「孕め…アナベルま●こ孕め…
オレ…オレそっくりのガキ…孕めえ…」

「う…ああ…あ…」

「今日は…今日は…ああ…」

「お…ふう…危険日なのかよ…
そ…ういふのは先の言ってくれ…よお…」

「う…う…ケネスさ…ん…」

「まったくつけえなあ…でもまあイイが
それをち●ほで忘れさせるのが楽しいからな」

「危険日って
聞こえたんでやってきました」

「それじゃ危険日ま●こ
種付けしてやるからな」

「ケネスさ…ん…助け…助け…て…」

「安心しな

魚のエサの事なんて
すぐに忘れさせてやっから」

ど



「数時間後」

「孕めっ危険日ま●こ孕め!
オレ様のガキ孕めっオラあああつ!!」

「くひゃアアああああ♡♡♡」

「ぐ…おお…6発目え…♡
危険日ま●こ…孕め…孕めえ…♡」

「ん♡んっおお♡おおあオあ♡」

「ま●こ…ずっとアへって…♡
あ…ああ…搾り取られ…おお…お…♡」

「んお…お…ご主人ひやま…あ…♡
は…ひやく…次のひやねづけ…ひやね…♡」

「ん…ふう…種付けしてほしいなら
何か言っことがあるよな?♡」

「わっわたくひはご主人ひやまのペット♡
ごひゅ人様専用のペットでひゅ♡
だから赤ひゃんを♡赤ひゃオあああおおオ♡♡」

「あ…子作りツアーまし最高お…♡
借金してまで…来たかいがあった…ぜ…♡」

「赤ひゃん♡赤ひゃん下ひゃい♡♡♡」



「は……♡
すっげ生意気ま……♡」

「ぐっ……んっ!!」

「すげえおねだりしてくるじゃん?♡
あつもしかしてオレってタイプだった?(笑)」

「ふざけ……ない……でっ!!
そんな……わけ……あぐッ!!」

「へへっ恥ずかしがることねえだろ
タイプの男にハメられて興奮してんだろ?♡」

「だ……誰が……
ぐっ……んっ……ぐッ!!」

「つか……テメエがオレのガチ好みなんだよ……♡
だから……ち●ほ滾って……ああ……もうヤバいかも……♡」

「ヤバ……い……?
ま……まさか……っ!」

「それじゃ膣内射精イクぜりイサラ♡
特濃種汁ま●こにたっぷり注いでやっからな♡」



「な…^{なかだし}膣内射精…!!
待って待って!!それだけはっ!!」

「おいおい何言ってるんだよ?

^{なかだし}膣内射精しないと
子作りセックスにならねえだろうが♡」

「今日は駄目なのっ!!
出来るっ!!出来るから!!」

「おっしや危険日きた——っ♡
オレのガキ孕む運命だったんだなイサラ♡」

「お願い!!お願いだからっ!!
^{なか}膣内だけは!!^{なか}膣内だけは本当にっ!!」

「あああ…子作りツア—最高お…♡
こんなガチ好みが…いるとは思わなかったぜ…♡
しかも…危険日ま●ことか…よお…♡」

「誰か!誰か助けてええええ!!」

「いくぞっ種付けいくぞイサラ!!
危険日ま●こ孕ませるぞおおおっ!!」



「危険日ま●こ孕めっ孕め!
オレの特濃種汁で孕めイサラああああ!!」

「嫌あああああああつ!!」

「孕め…危険日ま●こ孕め…♡
オレのガキ…孕めイサラあ…♡」

「あ…ああ…妊娠…うう」

「危険日って
聞こえたんでやってきましたら(笑)」

「ひっ!!」

「どうよ?オレのち●ぼすげえだろ?♡」

「や…ああ…」

「(な…何この大き…さ…
それに…何か…ボコボコして…?)」

「んなジロジロ見るなよ照れるだろ♡
ってああこれ?ボールとリング埋め込んでんだよ♡」

「こ…んなの…入るわけ…」

「大丈夫っ大丈夫イけるって♡
つか無理矢理ブチ込むだけだし♡」

「あ…あ…誰か助…け…」



―数時間後―

「危険日ま●こ孕めっ孕め！
オレ様のガキ孕みやがれえええつ!!」

「ひゃああああアアああ♡♡」

「おらあ…8発目え…♡
危険日ま●こ…孕んでしま…え…♡」

「赤ひゃ♡ああおっ♡赤ひゃああっお♡」

「ん……種付け気持ちいい……♡
おいつ感謝の言葉はどうしたよ?♡」

「こ…ご主人ひゃ…ま…♡
ひゃね付けありひゃとうござい…ま…ひゅ♡」

「オラあ声小せえぞっ!!
もつとデケえ声で喋りやがれっ!!
ちゃんとと言わねえと種付けしてやらねえぞ!!」

「ごひゅ人様っ種付けありひゃとうございまひゅ♡
私はごひゅ人様のペットに
なるひゃめに産まれへきまひゃああああ♡」

「オレ様のペットになるのが
女にとって一番の幸せと悦びだよな♡」

「はっ♡はひゃく種付け♡
種付けしてくだひゃいご主人ひゃまああああ♡」

















